



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月12日

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 和昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 高島 隆明 (TEL) 03(3524)0511  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,254	16.7	136	-	146	-	117	-
22年3月期第1四半期	1,506	-	7	-	4	-	5	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	2,157	93	-	-
22年3月期第1四半期	89	88	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	3,406	2,076	2,076	2,076	61.0	38,177	21	
22年3月期	3,643	2,322	2,322	2,322	63.7	42,449	28	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,076百万円 22年3月期 2,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-	-	-	-	-	-	2,000	00	2,000	00
23年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	2,000	00	2,000	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,784	4.4	95	-	95	-	45	-	824	76
通期	6,450	8.4	400	-	400	-	235	-	4,307	07

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

#### 4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

23年3月期1Q	60,156株	22年3月期	60,156株
23年3月期1Q	5,759株	22年3月期	5,448株
23年3月期1Q	54,561株	22年3月期1Q	56,180株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日)における我が国経済は、企業収益の改善や設備投資の下げ止まりによって景気は穏やかに回復しつつあります

海外のICT企業の多くは、日本市場から撤退し、発展目覚ましい中国やインド、ベトナムなどアジア全域へと活動の軸足を移しており、当社グループの事業領域である技術サポート・ビジネスもアジア全域に拡大しつつあります。また、最近の新たな現象として登場したクラウド・コンピューティングは、一万人、百万人といわれてきた日本のICT業界で従事する企業も技術者も「今後半減する」という衝撃的な予測が現実のものになりつつあります。当社グループが属する情報サービス産業においても、顧客から要求されるサービス・サポート料金は、アジア各国と競合する場面が増加しております。このように、めまぐるしく変化するビジネス環境の中で、「日本品質をアジア価格で」をキャッチフレーズとしている当社グループは、従来のハード・ウェアの保守・アフターサービスのビジネスモデルから脱却すべく、バイリンガル・マルチエンジニア知識を基とした世界標準の社員の育成に尽力してまいりました。また、ICT業界がクラウド・コンピューティングに代表されるように本格的な自由競争の時代へと進んでいることから、当社グループ自らが積極的に営業活動を行うべく、当第2四半期会計期間からの本格稼働を見据え、営業部門を新設いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,254,810千円(前年同期比16.7%減)となり、営業利益につきましては、ヘルプデスク・コールセンタ部門において前連結会計年度より受託した業務で依然、収益が上がっていないことや、毎年このことながら、新卒従業員の教育訓練期間の人件費計上等により136,996千円の営業損失(前年同期は営業利益7,819千円)となりました。経常利益は、営業外費用として為替差損の発生9,852千円を計上したことにより、146,541千円の経常損失(前年同期は経常利益4,823千円)となりました。また、本年度からの資産除去債務会計基準の適用により特別損失21,472千円を計上し、税金等調整前四半期純損失は169,275千円(前年同期は税金等調整前四半期純利益4,823千円)、四半期純損失は法人税等調整額 53,830千円の計上等により117,739千円(前年同期は四半期純損失5,049千円)となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

#### ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門においては、前連結会計年度に拡張した教育事業用施設が本格稼働しつつあります。ソフトウェア開発部門においては、半導体市場の回復等により堅調に推移いたしました。また、ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、前連結会計年度からの海外メーカの新規受託で売上は増加いたしました。未だ人件費及び外注費等の原価ををカバーするまでには至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は601,097千円、セグメント損失は87,524千円となりました。

#### フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システムサポート部門において営業サポート業務やICTベンダのシステム増設等に伴うネットワーク工事受託量の増加を図りました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器の保守、設置業務について、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は462,397千円、セグメント利益は71,685千円となりました。

#### ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、当社の受託しているメーカのサーバ出荷量が減少したことに伴い、当社の業務受託量も減少いたしました。リペアセンタ部門は、業務委託契約の一部が終了となり、売上が減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は175,360千円、セグメント損失は558千円となりました。

#### その他

国内子会社であるデータ・エントリー・ソリューション株式会社によるデータエントリー業務は、当初の予定通り堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は15,956千円、セグメント利益は6,293千円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し236,592千円減少し3,406,529千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し205,852千円減少し2,578,162千円となりました。これは主に、売上の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し30,740千円減少し828,367千円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却による減少、資産除去債務会計基準適用に伴う差入保証金の償却による

ものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し8,997千円増加し1,329,803千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し5,991千円増加し676,029千円となりました。これは主に、買掛金の減少に対して未払費用、預り金等の増加によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し3,006千円増加し653,774千円となりました。これは主に、退職給付引当金の増加によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し245,590千円減少し2,076,725千円となりました。これは主に、四半期純損失の計上や配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年5月31日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想についての変更はございません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失はそれぞれ1,234千円、税金等調整前四半期純損失は22,707千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,484,522	1,530,622
受取手形及び売掛金	754,855	959,475
仕掛品	2,036	1,489
原材料及び貯蔵品	53,187	50,121
その他	283,688	242,488
貸倒引当金	128	182
流動資産合計	2,578,162	2,784,014
固定資産		
有形固定資産	191,419	204,293
無形固定資産	164,107	162,075
投資その他の資産		
その他	473,825	493,766
貸倒引当金	985	1,027
投資その他の資産合計	472,840	492,739
固定資産合計	828,367	859,107
資産合計	3,406,529	3,643,121
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,154	178,352
未払法人税等	6,059	1,825
賞与引当金	112,179	134,398
役員賞与引当金	6,000	8,500
その他	437,635	346,962
流動負債合計	676,029	670,038
固定負債		
退職給付引当金	436,662	425,943
その他	217,111	224,824
固定負債合計	653,774	650,768
負債合計	1,329,803	1,320,806
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	937,040	1,164,141
自己株式	296,392	280,128
株主資本合計	2,083,297	2,326,663
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	6,572	4,348
評価・換算差額等合計	6,572	4,348
純資産合計	2,076,725	2,322,315
負債純資産合計	3,406,529	3,643,121

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,506,420	1,254,810
売上原価	1,329,749	1,264,915
売上総利益又は売上総損失( )	176,671	10,104
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	34,296	25,146
賞与引当金繰入額	5,918	3,902
役員賞与引当金繰入額	5,835	6,000
退職給付引当金繰入額	625	306
その他	122,175	91,536
販売費及び一般管理費合計	168,851	126,891
営業利益又は営業損失( )	7,819	136,996
営業外収益		
受取利息	94	78
保険配当金	-	931
債務整理益	113	-
その他	127	113
営業外収益合計	335	1,122
営業外費用		
支払利息	-	713
事業所閉鎖損失	2,650	-
為替差損	371	9,852
その他	308	101
営業外費用合計	3,331	10,667
経常利益又は経常損失( )	4,823	146,541
特別損失		
固定資産除却損	-	1,260
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	21,472
特別損失合計	-	22,733
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	4,823	169,275
法人税、住民税及び事業税	3,636	2,294
法人税等調整額	6,236	53,830
法人税等合計	9,872	51,535
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	117,739
四半期純損失( )	5,049	117,739

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	4,823	169,275
減価償却費	15,988	12,254
貸倒引当金の増減額( は減少)	25	95
賞与引当金の増減額( は減少)	93,212	22,218
退職給付引当金の増減額( は減少)	2,096	10,752
役員賞与引当金の増減額( は減少)	16,165	2,500
固定資産除却損	-	1,260
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	21,472
受取利息	94	78
支払利息	-	713
為替差損益( は益)	3,558	13,088
売上債権の増減額( は増加)	132,702	204,321
たな卸資産の増減額( は増加)	22,355	3,612
仕入債務の増減額( は減少)	23,740	64,197
未払費用の増減額( は減少)	-	42,030
前受金の増減額( は減少)	41,356	14,168
預り金の増減額( は減少)	60,280	24,552
その他	1,439	20,365
小計	144,247	103,004
利息の受取額	93	87
利息の支払額	-	1,402
法人税等の支払額	3,040	1,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,300	100,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	11,552	-
その他	330	1,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,221	1,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	59,513	16,263
配当金の支払額	112,825	109,327
長期未払金の返済による支出	-	6,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,338	132,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,362	15,315
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	36,897	46,011
現金及び現金同等物の期首残高	1,658,327	1,528,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,621,430	1,482,831



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。